川崎造船株式會社

確定對案なし、專制獨裁の社長松方氏は老公の病氣を見舞に上つて居られるので職工課は對案を作成すること出來ず焦慮して居る萬事松方氏の意見によるが職工課としては此際進んで組合を設立せんとする意嚮がある、然し勞働代表の選出に就ては職工は從來勞働組合の態度に從つて棄權して工場自身何等之に干渉を試みた事がないので職工に委し不干渉の態度をとればよいと、今年の選出方法に付て過然好都合になつた事を喜ぶんで居る。